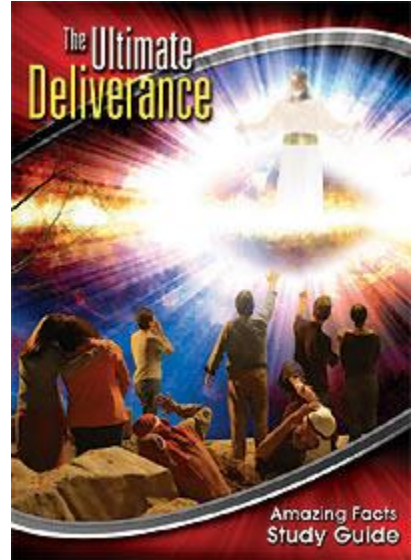


これはおとぎ話ではありません - いつかあなたは痛み、空腹、孤独、犯罪、そして、今日世界をむしばんでいる混乱などのすべてから解放されます。素晴らしいことではないですか！けれどもあなたを救出してくれるのは、あるカリスマ的な地上のリーダーではありません ... 違います、そんな人たちよりもはるかにまさったお方です！ イエスは間もなくおいでになります。ところがどのようにイエスが来られるのかという広く受け入れられている誤った考えが数多くあります。ですから少しの時間を割いて、聖書がキリストの再臨についてどのように教えているのかを学んでください。そうすればあなたは置き去りにされてしまうことはないでしょう！



1. キリストはこの地球に二度目に来臨されるのですか？ それは本当ですか？

「キリスト(は) ... 二度目に現れて、救いを与えられるのである。」ヘブル人への手紙 9:28 「行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしの所に迎えよう。」ヨハネによる福音書 14:3

答え： そのとおりです！ イエスは、ご自分がこの地上に再び戻られることを約束してくださいました。聖書のみ言葉は、戻る（すた）ることがないので（ヨハネによる福音書 10:35）、これは未来に成就するという確実な証拠です。書かれているとおりそのまま信じましょう。これはキリストご自身が保証してくださっていることです。



イエスは、この地上にもう一度戻られることを教えられた。

2. イエスは、どのように再び戻って来られるのですか？



イエスは雲に乗ってこの地球に戻ると言われた。

「イエスは彼らの見ている前で天に上げられ、雲に迎えられて、その姿が見えなくなった。イエスの上で行かれるとき、彼らが天を見つめていると、見よ、白い衣を着たふたりの人が、彼らのそばに立っていて言った、『ガリラヤの人たちよ、なぜ天を仰いで立っているのか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう』。」使徒行伝 1:9-11

答え： イエスは、天に上って行かれたのと同じ有様で再びこの地球に戻って来られると聖書に約束されています。同じ有様というのは -- 人々が目にすることができる実際の肉体を持った一人としてということです。マタイによる福音書 24:30 は「カと大いなる栄光とをもって、人の子が天の雲に乗って来るのを、人々は見るのであろう。」と述べています。イエスは、肉体と骨を持つ人格を備えた一人として（ルカによる福音書 24:36-43,50,51）、実際に雲に乗って来られます。そしてすべての人々が目撃します。聖書ではこれらの事実を非常に明確にしています。

3. キリストのご再臨はすべての人が見ることができるのでしょうか？それとも選ばれた人たちだけが目撃するのですか？

「見よ、彼は、雲に乗ってこられる。すべての人の目、ことに、彼を刺しとおした者たちは、彼を仰ぎ見るであろう。また地上の諸族はみな、彼のゆえに胸を打って嘆くであろう。しかし、アメン。」ヨハネの黙示録 1:7 「ちょうど、いなずまが東から西にひらめき渡るように、人の子も現れるであろう。」マタイによる福音書 24:27

答え： イエスが戻られるご再臨では、世界に生存しているすべての男女と子供がイエスを見ます。彼の来臨の驚くべき三重の輝き（ルカによる福音書 9:26）は、地平線から地平線へ続き、大気を稲光のような輝かしい栄光で満たします。だれ一人として隠れることはできません。生きている全ての人々は、余儀なくキリストと対面するのです。キリストはこれに関して疑いや誤解の余地を何も残していません。

注： 今日一般に教えられ、信じられている「秘密の携拳」は、聖書のどこにも見当たりません。それは人間が考え出したものです。また、キリストの再臨は、改心した時に心に起こる霊的なものでもありませんし、人間が死ぬ時に起こるものでもありません。また、さらに優れた世界状態を表す象徴でもありません。これらの教えはみな人間が作り出したものです。キリストのご再臨は現実が起こるもので、世界中のすべての人が目撃します。それはこの世界に終わりをもたらし、すべての男女に報酬または刑罰をもたらすために、キリストご自身が雲に包まれて直接お出でになることなのです。



地球に住んでいるすべての人は、イエスがお戻りになるのを見る。

4. イエスのご再臨のときにだれと一緒に来ますか？それはなぜですか？



天のすべての天使たちは、イエスと共にご再臨の時に来る。

「人の子が栄光の中にすべての御使たちを従えて来るとき、彼はその栄光の座につくであろう。」マタイによる福音書 25:31

答え： イエスは天のすべての天使たちと共にご再臨されます。雲が地球に近づくと、イエスは天使たちを遣わし、すべての義人を天に連れて帰る準備のためにすばやく集められます（マタイによる福音書 24:31）。

5. イエスがこの地球に再臨される目的は何ですか？



イエスは神の子らを天に連れていかれ、アダムとエバが失ったすべてのものを回復してください。

「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。」ヨハネの黙示録 22:12 「そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。」ヨハネによる福音書 14:3 「キリストなるイエスを、神がつかわして下さるためである。このイエスは、神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた万物更新の時まで、天にとどめておかれねばならなかった。」使徒行伝 3:20, 21

答え： イエスは神の子らに約束されたように、彼らのために用意した美しい住まいに連れていくという報酬を携えてこの地球にお戻りになられます。イエスは、罪によってアダムとエバが失ったエデンでの喜びと栄光のすべてを神の子らに回復していただきます。イエスのご再臨は、現在の邪悪な時代に終わりをもたらします。

6. イエスが再び来られるとき、義人はどうなりますか？

「すなわち、主ご自身が... 天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。」テサロニケ人への第一の手紙 4:16, 17 「わたしたちすべては、... 一瞬にして変えられる。... 死人は朽ちない者によみがえらされ、わたしたちは変えられるのである。なぜなら、... この死ぬものは必ず死なないものを着ることになるからである。」コリント人への第一の手紙 15:51-53 「救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。彼は、... わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。」ピリピ人への手紙 3:20, 21

答え： 死んだ義人は、キリストが持つておられるような完全な不死の体を与えられて墓から復活し、雲の中で主にお会いするために引き上げられます。それから生きている義人もまた、キリストのような体を与えられ、「空中で」主にお会いするために引き上げられます。イエスのご再臨のときに、地に足を触れられないということに注意してください。義人は「空中」でキリストに会います。ですから神の子らは、キリストはバルテモア、ニューオーリンズ、ロサンゼルス、その他の場所にいるといううまいかなる報道であっても、聞き流すのです。偽キリストが現れて、地上で奇跡を行います（マタイによる福音書 24:23-27）、イエスのご再臨のときには地球上空の雲の中に留まられます。



死によって眠りから引き離された小さい赤ん坊はイエスの再来の時、眠りもとに戻される。

7. イエスが来られるときには、悪人はどうなりますか？



悪人は、イエスのご再臨のときに滅ぼされる。

「(神は) そのくちびるの息をもって悪しき者を殺す。」イザヤ書 11:4 「その日、主に殺される人々は、地のこの果から、かの果に及ぶ。」エレミヤ書 25:33

答え：悪人はイエスに滅ぼされます。

8. キリストのご再臨で、地球自体はどのような影響を受けるのでしょうか？

「また激しい地震があった。それは人間が地上にあらわれて以来、かつてなかったようなもので、それほどに激しい地震であった。」「島々はみな逃げ去り、山々は見えなくなった。」ヨハネの黙示録 16:18, 20 「わたしは見たが、豊かな地は荒地となり、そのすべての町は、主の前に、その激しい怒りの前に、破壊されていた。」エレミヤ書 4:26 「主はこの地をむなしくし、これを荒れすたれさせ、これをくつがえして、その民を散らされる。」「地は全くむなしくされ、全くかすめられる。」イザヤ書 24:1, 3

答え：主がお出でになるときに、この地球は激しい地震に襲われます。この地震は地球を完全に壊滅状態にしてしまうような破壊的なものです。



今日の地震は、イエスが来られる時の大いなる地震に比べると、小さなものである。

9. キリストの再臨が切迫していることに関して、聖書には具体的な情報が書かれていますか？

答え：聖書の中でイエスご自身が、「そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい」(マタイによる福音書 24:33)と言われました。主は、ご自分の昇天から再臨にいたるまでのしるしを述べておられます。下記はそれらのリストですので、注意深く研究してください。

A. エルサレムの滅亡

預言：「その石一つでもくずさず、そこに他の石の上に残ることもなくなるであろう。」「そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。」マタイによる福音書 24:2, 16

成就：エルサレムは紀元 70 年に、ローマ提督テロスによって滅ぼされました。

B. 大いなる迫害、患難

預言：「その時には、世の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような大きな患難が起こるからである。」マタイによる福音書 24:21

成就：この預言は、第一には、暗黒時代に起こった長い期間の患難を指し、それは背信した教会が火つけ役となりました。この期間は千年以上も続きました。この残酷な患難の期間に、五千万人以上のクリスチャンたちが信仰のために殺されました。この背信した教会は、「人類史上かつて存在したどのような制度や組織よりも、罪のない人々の血を流した」とある著者は述べています。引用文献：(W.E.H.Lecy, History of the Influence of the Spirit of Rationalism in Europe, (Reprint; New York: Braziller, 1955) Vol 2, pp 40-45.)

C. 太陽は暗黒に変わる

預言：「しかし、その時に起こる患難の後、たちまち日は暗くなり」マタイによる福音書 24:29

成就：これは、1780 年 5 月 19 日の超自然的な暗黒の日に成就しました。テモテ・ドワイト (Timothy Dwight) は、「1780 年 5 月 19 日は驚くべき暗黒の日であった。多くの家々でろうそくがともされ、小鳥は静かになって消え去り、鳥はその寝床に休み ... さばきの日が間近に迫ったという大多数の考えが圧倒的であった」と述べています。Connecticut Historical Collections からの引用 Compiled by John Warner Barber (2nd ed.; New Haven: Durrie & Peck and J.W. Barber, 1836) p. 403.

D. 月は血に変わる

預言：「主の大いなる恐るべき日に来る前に、日は暗く、月は血に変わる。」ヨエル書 2:31

成就：1780 年 5 月 19 日の「暗黒日」の夜、月は血のように赤くなりました。Milo Bostick in Stone's History of Massachusetts では、「月は満月であったが、その外観は血のようであった。」と述べています。



暗黒時代に何百万ものクリスチャンが殺された。多くは火刑に処された。

E. 天からの流星

預言：「星は空から落ち」マタイによる福音書 24:29

成就：1833年11月13日の夜、大流星雨が起りました。それは非常に明るく、街路で新聞を読むことができるほどでした。ある著者は、「四時間近く、空はまさしく燃えていた。」と述べています。人々は世の終わりが来たと思いました。これらを研究してみてください。これは最も興味深く、すばらしいキリストの再臨のしるしであります。

*Peter A. Millman, "The Falling of the Stars," *The Telescope*, 7 (May-June, 1940) 57.



1833年11月13日、大流星雨があった。

F. イエスは雲に乗って来られる

預言：「そのとき、人の子のしるしが天に現れるであろう。またそのとき、地のすべての民族は嘆き、そして力と大いなる栄光とをもって、人の子が天の雲に乗って来るのを、人々は見るであろう。」マタイによる福音書 24:30

成就：これが次の大いなる事件です。あなたはこの日のために準備ができていますか？

10. 私たちが、地上歴史の最も終わりに生存しているということとどのようにして知ることができますか？ 聖書には、この世界と最後の世代の人々に関しての明確な記述がありますか？

答え：確かに聖書に記述されています。下記の世の終わりの特別なしるしに注目してください、あなたは驚かれることでしょう。私たちがこの地上歴史の終わりの日に存在していることを示す多くの明確なしるしがありますが、それらのうちのいくつかをリストアップしています。

A. 労使間の問題

「見よ、あなた方が労働者たちに畑の刈り入れをさせながら、支払わずにいる賃金が叫んでいる。そして、刈り入れをした人たちの叫び声が、すでに万軍の主の耳に達している。... 主の来臨が近づいているから、耐え忍びなさい。」ヤコブの手紙 5:4, 8

終わりの時代の労使間の問題は聖書に預言されており、それが成就していることを新聞の記事で見ることができます。



労使間の紛争は、イエスの再臨のしるしである。

B. 戦争と騒乱

「戦争と騒乱とのうわさを聞くときにも、おじ恐れるな。こうしたことはまず起こらねばならない。」ルカによる福音書 21:9

戦争と内乱の惨事は、この世界の大多数の人々に影響を及ぼしています。まもなく来られるイエスだけが、戦争による破壊と苦しみに終止符を打つことができようになります。

C. 不安、恐怖、大変動

「地上では、諸国民が悩み ... 人々は世界に起こらうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。」ルカによる福音書 21:25,26

この言葉は奇妙にも、今日の世界情勢を完璧に描いている最近の新聞の社説記事のようですが、それには理由があるのです：私たちはこの地球歴史の最終日に生存しています。今日の世界が直面している緊張した雰囲気は驚くには及びません。キリストは前もってこれらのことが起こると言われました。ですから今日の状況は、イエスの再臨が近いことを私たちに確信させるはずなのです。



将来への不安や恐怖は、イエスの再臨のしるしである

D. 知識が増す

「終わりの時まで ... 知識が増すでしょう。」ダニエル書 12:4

情報化時代の現在、このしるしはあまりにも明らかで、最も懐疑的な考えの人々でさえ、このしるしが成就していることを認めています。あらゆる方面の知識が激増しています。世界全体の80パーセントの知識は、この数十年のうちにもたらされ、そして、かつて存在した科学者の総数の90パーセントが、今日生存しているのです。

E. 聖書の真理に背を向けるあざける者たちと、信心深い様子をした懐疑論者たち

「終りの時にあざける者たちが、あざけりながら出る。ペテロの第二の手紙 3:3 「人々が健全な教えに耐えられなくなり、... そして真理からは耳をそむけて、作り話の方にそれていく時が来るであろう。」テモテへの第二の手紙 4:3, 4

この預言の成就として、今日、あざける者たちを見つけるのは難しいことではありません。宗教指導者たちでさえ、明確な聖書の創造論、洪水、キリストの神性、キリストの再臨、そのほかの重要な真理を拒んでいます。多くの宗教界では、精神医学や似非インテリに受け継がれた思想が、聖書の教えに取り替えられてしまっています。世俗一般（非宗教的）の教育者たちは、聖書の偉大な真理をあざけり、そして、進化論や人間の作った偽りの教えを、率直で、単純な神の聖なる言葉の代わりにすることを青年たちに教えています。最近の世論調査では、アメリカの神学生の2パーセントだけが、文字通りのキリストの再臨を信じているということが分りました。



ポルノグラフィ、犯罪、違法薬物そして道徳の腐敗に圧倒する脅威にさらされている。

F. 道徳の低下--霊的堕落

「終りの時には、... 人々は自分を愛する者 ... 無情な者、... 無節制な者、... 善を好まない者、... 信心深い様子をしてながらその実を捨てる者となるであろう。こうした人々を避けなさい。」テモテへの第二の手紙 3:1-5
アメリカ、日本ともに、現在大いなる危機の真只中にあります。さまざまな立場の人々がそのように語っています。自殺が人々の問題解決の傾向になりつつあります。離婚率は非常に勢いで上昇しており、夫婦二組のうち一組近くの終結は離婚裁判所です。近年の不道徳な世代、そして、教会においても性的不道徳のとりこになっているメンバーは増加していますが、真の霊性は低下しており、これらは明らかに神の言葉の成就です。大変驚くべきことは、テモテへの第二の手紙 3:1-5 に記されている世の終わりの罪を、どの新聞を見ても目にすることができるということです。現在の世界を覆っている悪を断ち切ることができるのは主のご再臨のみです。

G. 快楽に熱中

「終わりの時には、...人々は、...神よりも快楽を愛する者」となる。テモテへの第二の手紙 3:1-4

この世の人々は快楽に熱中しています。都会に住むほんの少数の人々だけが毎週教会に出席していますが、そのほかの多くの人々が遊楽地は賑わっています。アメリカ、日本ともに、毎年娯楽のために何十億ドル(何千億円)という金額を浪費していますが、それに比べて神には微々たる金額しか献げません。娯楽に熱中している人々は、テレビの前で膨大な時間を浪費していますが、これはまさに、テモテへの第二の手紙 3:4 の成就です。



「終わりの時には、...人々は、...神よりも快楽を愛する者」となる。テモテへの第二の手紙 3:1-4

H. 放縦、殺人、暴力の増加

「また、不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。」マタイによる福音書 24:12 「悪人と詐欺師とは人を惑わし人に惑わされて、悪から悪へと落ちていく。」テモテへの第二の手紙 3:13 「この地は流血のどがに満ち、この町は暴虐に満ちている。」エゼキエル書 7:23

このしるしが成就していることは、あまりにも明らかです。犯罪と不法が衝撃的な速さで増加しています。大都会では暗くなると、ほとんどの人々がドアの呼び鈴に回答しません。現代の最も賢明な指導的政治家たちは、制御できないまでに増加する犯罪のため、この文明社会の生存に対して懸念しています。

I. 破壊的な地震、嵐、飢饉

「また大地震があり、あちこちに疫病やききんが起こり、いろいろ恐ろしいことや天からの物すごい前兆があるであろう。」ルカによる福音書 21:11

地震、たつ巻き、洪水などは、先例のない率で増加しています。世界の人口の三分の一は飢えており、何千という人々が、毎日飢餓のために命を失っています。これらすべてのことは、私たちがこの地球の最終時代に生きているさらなる証拠です。

J. 最終時代にある世界への特別なメッセージ

「そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」マタイによる福音書 24:14

偉大で厳肅な、キリストの再臨の最後の警告のメッセージが、現在 900 以上の国語、また部族語で伝えられています。世界の人口の 95 パーセントがこのメッセージを得ることが可能です。イエスの再臨の前に、世界のすべての人々が間もなくおいでになるイエスの来臨に関して警告されます。人々が滅びるのは、その警告のメッセージを拒むときのみです。



霊媒者、口寄せ、降霊術者を信頼することは、私たちが終末時代に生きているという証拠である。

K. 心霊術を求め、それに頼る

「後の時になると、ある人々は、惑わす霊と悪霊の教えとに氣をとられて、信仰から離れ去るであろう。」テモテへの第一の手紙 4:1 「それらは、しるしを行う悪霊の霊であって、」ヨハネの黙示録 16:14

今日、国々の膨大な数の指導者たちを含む多くの人々が、霊媒者、口寄せ、降心術者、心霊術者などに勧告を求めています。また心霊術が、霊魂不滅説という偽りの教えによって、諸教会に侵入しています。聖書は、死人は死んだままであり、生きている人々とは関係しないと明確に述べております。

11. 主の再臨は、実際にはどれほど近いのでしょうか？

「いちじくの木からこの譬を学びなさい。その枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかる。そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。」マタイによる福音書 24:32-34

答え：聖書は、この点において非常に明確で率直です。時のしるしは、ほとんどすべて成就してきました。キリストの再臨の正確な日時はわかりませんが（マタイによる福音書 24:36）、私たちこそは、イエスの再臨を生きて目撃することのできる世代であることを確信できます。神はみ業をすばやく完結させ、そして、その働きを短縮する（ローマ人への手紙 9:28 - 欽定訳聖書）ことを約束されました。キリストはご自分の民を迎えるためにこの地球に戻ってこられます。あなたはその準備ができていますか？



私たちは、この世の最終時代に生きている。

12. サタンは、キリストの再臨について多くの偽りを述べており、偽りの不思議や奇跡を通して何百万という人々を欺くことでしよう。私が決して騙されないようにするにはどうしたらいいのでしょうか？

「これらは、しるしを行う悪霊の霊であって、」ヨハネの黙示録 16:14 「にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。」マタイによる福音書 24:24 「律法と証とに求めよ、もし人々が、この言葉に従って語らなければ、それは、彼らの内に光がないからである」イザヤ書 8:20（欽定訳聖書）



交霊術の会に現われたイエスは、イエスの姿を真似た悪魔の一人であった。

答え：

サタンは、キリストの再臨に関する多くの偽りの教理を作り出し、キリストはすでに来られた、あるいは、聖書には記されていない方法で来られるという教えを信じさせて、多くの人々を惑わしています。ですからキリストは、私たちに悪魔の策略を警告して、「人に惑わされないように気をつけなさい」（マタイによる福音書 24:4）と言われました。また、キリストは悪魔の計画と偽りを暴露し、私たちに前もって警告することによって、それを思い出すことができるように、「見よ、あなたがたに前もって言うておく」と言われました（マタイによる福音書 24:25）。たとえば、イエスはご自分が荒野に現れることはないこと、あるいは、降霊術の会（霊媒を通じて死者と交信するための場）に来ることはないという（26節）ことを明確に述べられました。もし私たちが、神の書はキリストの再臨についてどのようなことを教えているか、ということ学ぶならば、惑わされる理由は何もありません。私たちが厳密に調べるべきことは：聖書はこのことに関して何と教えているのか？ということです。キリストの再臨に関して聖書が述べていることを理解している人々は、悪魔によって誤った道に導かれることはありません。そうすることをしないほかのすべての人々は惑わされてしまいます。

13. イエスが再びおいでになるときに、私の準備ができていないということを、どうしたら確信することができますか？

「わたしに来る者を決して拒みはしない。」ヨハネによる福音書 6:37 「彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。」ヨハネによる福音書 1:12 「わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつけよう。こうして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう。」ヘブル人への手紙 8:10 「しかし、感謝すべきことには、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである。」コリント人への第一の手紙 15:57

答え： イエスは、「見よ、わたしは戸【このドアは人間の心を表しています】の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはそこにはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」と言われました（ヨハネの黙示録 3:20）。イエスは、聖霊と私たちの良心を通して心の戸をたたき、心にお入りになることによって私たちの人生(生活)を変えることを願っておられます。もし、私たちがあまことなく自分の人生をキリストに明けわたすならば、過去の罪をすべて消し去ってくださり（ローマ人への手紙 3:25）、清い人生を生きることができるよう力を与えて下さいます（ヨハネによる福音書 1:12）。値なしの賜物として、キリストは私たちにご自分の義なる品性をくださり、そして、主の恵みによって人生(生活)を変え、私たちが恐れなく聖なる神の御前に立つことができます。そのとき主の御心を行うことは喜びとなります。これはあまりにも単純なことなので、多くの人々はこの事実を疑います。けれどもこれは真実です。私がすべきことは、単に自分の人生をキリストに差し出し、キリストに心の中に生きていただくことです。キリストの役割は、大いなる奇跡をもって私のうちに働くことによって私の人生を変え、ご再臨の備えをさせてくださることです。それは無代価であり、これを自分自身のものにするには受け取りさえすればいいのです。



キリストと交わる時間がないほど自分自身のことで忙しくしすぎないようにしなければならない。

14. キリストが厳密に警告しておられる大いなる危険とは何でしょうか？

「だから、あなたがたも用意をしていなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。」マタイによる福音書 24:44 「あなたがたが放縦や、泥酔や、世の煩いのために心が鈍っているうちに、思いがけないとき、その日がわなのようにあなたがたを捕らえることがないように、よく注意していなさい。」ルカによる福音書 21:34 「人の子の現れるのも、ちょうどノアの時のようであろう。」マタによる福音書 24:37

答え： 生活の雑事に忙しくなり過ぎたり、罪深い楽しみに夢中になり、ノアの時代にこの世界に洪水が襲ったように、準備のないまま主の日が突然やってきて、驚きのうちに滅びてしまうという大きな危険があります。これが何百万人という人々の経験となることでしょうか。あなたはどうでしょうか？ キリストは本当に間もなくこの地球に戻って来られます -- それはおそらく私たちの生きている時代でありましょう。あなたはその準備ができていますか？ これ以外に重要なものは何もありません。



15. 私は、イエスがお戻りになるためのために準備をするつもりです。



答え：

- はい
 いいえ

質問

1. 大いなる患難はまだ将来のことではないですか？

マタイによる福音書 24:21

キリストがその民を救うために来られる直前に、恐るべき患難が地をおおうことは事実です。ダニエルは、「かつてなかったほどの悩みの時」と表現していません(ダニエル書 12:1)。マタイによる福音書 24:21 に書かれている「大きな患難」は、文脈からすると、暗黒時代の恐ろしい迫害のことを述べています。何百万というクリスチャンが信仰のために虐殺されました。

2. 主は「夜の盗人のように」来られるのでしたら、だれがそれを知ることができるでしょうか？

テサロニケ人への第一の手紙 5:4

その答えはテサロニケ人への第一の手紙 5:2-4 にあります。「あなたがた自身がよく知っているとおおり、主の日は盗人が夜くるように来る。人々が平和だ無事だと言っているその矢先に、ちょうど妊婦に産みの苦しみが増すように、突如として滅びが彼らをおそって来る。そして、それからのがれることは決してできない。しかし兄弟たちよ、あなたがたは暗やみの中にいないのだから、その日が、盗人のようにあなたがたを不意に襲うことはないであろう。」主の日は、準備のできていない人には盗人のように来ますが、「兄弟」と呼ばれる人は不意に襲われることはないということをご心に留めてください。

3. この地上にキリストの王国が築かれるのはいつですか？

ヨハネの黙示録 21:2

それは黙示録 20 章に示されているように、大いなる千年の期間の後です。この千年の期間は、キリストが再臨され、義人をこの地上から天に連れて行くときに始まります。義人は天において「千年」の間キリストと共に住み、また治めることがヨハネの黙示録 20:4 に記されています。この千年の期間の終わりに、ヨハネの黙示録 21:2 に記されている「聖なる都」、新エルサレムが、すべての聖徒(義人)を従えてこの地球に下ってきます(ゼカリヤ書 14:1, 4, 5)。そのときすべての時代の死んでいた悪人たちが再び生き返ります(ヨハネの黙示録 20:5)。悪人たちは聖なる都を攻め落とすために包囲しますが(ヨハネの黙示録 20:9)、天の神のもとより火が下ってきて悪人たちを焼き尽くします。この火は地球を清め、罪と罪人すべてを焼き尽くします(ペテロの第二の手紙 3:10)。最終的に火は消え(イザヤ書 47:14) 灰だけが残ります(マラキ書 4:3)。そこで神は新しい地球を創造し(ペテロの第二の手紙 3:13、イザヤ書 65:17、ヨハネの黙示録 21:1)、義人たちに与え、そこに神と共に住まわれます。神ご自身が義人たちと共におられ、彼らの神となられます(ヨハネの黙示録 21:3)。完全に聖であり、幸福な者たちが再び神の完全な姿に回復され、ついに神が最初に計画された一点の汚れもない、罪なき、完全に美の輝く世界に住むのです。最も愚かな人々だけがこれを見逃すような選択をすることになります。

4. 近頃、キリストの再臨のことについての説教や教えが聞かれなくなったのはなぜでしょうか？

テスへの手紙 2:13

その原因は悪魔にあります。悪魔はキリストの再臨はクリスチャンの「祝福に満ちた望み」であり(テスへの手紙 2:13)、人々がそのことを理解するとだちに生き方が変わり、この良きおとずれである福音をほかの人々に宣べ伝えるために、個々人が熱心で活発な働きをするようになることを知っています。そしてこれがキリストの再臨を早めることになるので悪魔は激怒します。ですから「信仰深い様子をしながらその実を捨てる者」(テモテへの第二の手紙 3:5)を利用して、「主の再臨の約束はどうなったのか。先祖たちが眠りについてから、すべてのものは天地創造の初めからそのままであって、変ってはいない」(ペテロの第二の手紙 3:3, 4)と悪魔は言わせるのです。間もなく、実際に起こるべきことであるキリストの再臨を否認、否定したり、軽々しく受け取る人たちは、特にこの聖書の預言を成就している人たちであり、悪魔のために大いなる働きをしているのです。

5. イエスが、ルカによる福音書 17:36 で、「ひとりを取り去られ、他のひとは残される」と言われたのは、秘密の携挙のことではないのですか？

ルカによる福音書 17:36

イエスが語られたできごとが秘密だということはここではまったく示されていません。イエスはノアの洪水やソドムの町の滅亡に関して語っておられました。(ルカによる福音書 17:26-37 を参照して下さい)。神がどのようにしてノアとロトを救い、悪人を滅ぼされたかを語られました。主は特に、洪水と火が「彼らすべてを滅ぼした」と言われました(27,29 節)。ノアとロト、それぞれの出来事において、少数の者が安全な所に取り去られて、残りの者はみな滅ぼされたことを率直に語られました。そのうちに、「人の子が現れるのも、ちょうどそれと同じであろう」と付け加えられ(30 節)、さらに説明を続け、「二人の者が畑におれば、ひとは取り去られ、ほかの者は残されるであろう」と言われました(36 節)。これは何も秘密に関することではありません。ヨハネの黙示録 1:7 では、「すべての人の目(が) ... 彼を仰ぎ見るであろう」と記されています。再臨のときに、キリストは公に、すべての人の目の前で義人を雲に包

まれ引き上げられます（テサロニケ人への第一の手紙 4:16,17）。そして、悪人を滅ぼされます（イザヤ書 11:4, テサロニケ人への第二の手紙 2:8）。そのためにルカによる福音書 17:37 で、悪人の死体や、それを食べるためにはげたかが回りに集まるというできごとに触れられているのです（ヨハネの黙示録 19:17,18 もご参照ください）。キリストのご再臨で残された悪人は、死んだまま残されます。

クイズ

1. キリストのご再臨では (1)

- キリストは密かに来られ、この地上のある特定の町を訪れる。
- キリストは砂漠に現れる。
- キリストは雲の中に留まれ、空中でキリストに会うために義人を引き上げられる。

2. イエスがお戻りになられるときには (1)

- 義人だけがキリストを見る。
- すべての人々がキリストを見る。
- 人々は、それがテレビで放送されるまで知らない。

3. キリストのご再臨のときに、義人はどうなりますか？(2)

- 死んでいた義人は復活し、不死の生命を受け、雲に包まれ天に連れて行かれる。
- 生きている義人は不死の生命を受け、雲に包まれ天に連れて行かれる。
- 義人は地球に残り、悪人を改心させる。
- 義人は秘密のうちに取り去られる。

4. 聖書に記されている徴によると、ほぼ間違いなくキリストのご再臨は (1)

- とても、とても近い！
- 今から何百年ものち。
- 21 世紀の中頃。

5. イエスがお戻りになられるときに生きている悪人たちは (1)

- 永遠に燃え続ける地獄に入れられる。
- イエスのご再臨のときに滅ぼされる。
- 刑罰を免れ、再びチャンスが与えられる。

6. キリストの再臨に関して正しい答えを選んでください (4)

- キリストは秘密のうちに来られる。
- 再臨は改心の経験である。
- キリストは雲に乗って来られる。
- キリストは、私たちが死ぬときに来られる。
- 悪人はキリストの再臨を見ることができない。
- すべての天使がキリストとともに来る。
- キリストは、この地上に足をつけられることはない。
- 再臨の日と時を知ることができる。
- 何百万という人々が驚き、滅びる。

7. キリストのご再臨のとき (1)

- 全世界が準備を整えて、待ち望んでいる。
- 世界的な恐るべき地震が起こる。
- 悪人は改心する。

8. 世の終わりの時の、真のしるしに関して正しい答えを選んでください (7)

- 世界は益々良くなっていく。

- 労使間の争いがある。
- 地震や嵐そのほかが少なくなっていく。
- 多くの人々が聖書の真理から離れる。
- 離婚率が減少する。
- 多くの者が快楽をほしのままにする。
- 道徳が腐敗する。
- 犯罪がずっと減少する。
- 大いなる飢饉が襲う。
- 知識が増す。
- 不安と不信が増す。

9. キリストがお戻りになる徴として、天体にどのような兆候がありますか?(2)

- ハレー彗星
- 1780年の暗黒日
- 1833年11月の落星
- 月が地球に落ちる

10. イエスが、まもなく地球にお戻りになるということ、どのように知ることができますか?(1)

- 聖書は、世の終わりの徴と、終末に関する完璧な説明を与えられたので。
- なぜなら、非常に多くの人々が、イエスがまもなくおいでになれることを信じているので。
- ある易者がそのように予告したので。

11. 何百万という人々が、キリストが戻られる方法や、時について欺かれます、なぜなら(1)

- 神はすべての人々が救われることを望まれない。
- 彼らは十分な、大きな捧げものをしない。
- 彼らは、真理を見出すために、聖書を研究しない。

12. 私が以下のことをするならば、キリストがお戻りになられるときのために準備ができます。(1)

- キリストが私の心の中に住まれるならば。
- 私が毎日新聞を読むならば。
- 私が牧師の提案したことをするならば。

著作権 ; 2006年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.